

## ICOM 舞鶴ミーティング 2018

### 文化をつなぐミュージアムと文化遺産

#### プログラム

日時：2018年9月30日(日) 14:15~19:00

会場：舞鶴市商工観光センター・まいづるベイプラザ

13:30-14:30 受付

14:15-14:30 アトラクション

14:30-14:50 開会あいさつ 多々見 良三 舞鶴市長  
 スアイ・アクソイ ICOM 会長  
 宮田 亮平 文化庁長官  
 佐々木 丞平 ICOM 京都大会 2019 組織委員長

14:50-15:05 舞鶴ミーティング趣旨説明  
 栗原 祐司 ICOM 京都大会運営委員長

15:05-16:45 セッション① 国際的課題とミュージアム

15:05-16:05 発表 1~6 (各 10 分ずつ) \*招待発表含む

| 発表者 |                      | 国      | タイトル  |
|-----|----------------------|--------|---|
| 1   | メライナ・カマイラ<br>ケバ      | フィジー   | グローバル問題の発信拠点としてのミュージアム：太平洋及び世界の気候変動への意識を高め取組を促進させるフィジー博物館の活動                |
| 2   | エリカ・ディワタ・<br>M・ジャシント | フィリピン  | 災害を語る：フィリピンでの美術展を通して伝える   |
| 3   | サトゥ・イトコネン            | フィンランド | 幸福感を高める美術館  |
| 4   | 島 絵里子                | 日本     | 多様な文化的背景をもつ人々が安心して語らうことのできる場としてのミュージアムの可能性ーマレーシア国立博物館における多国籍ボランティアの活動の事例からー |
| 5   | ジュディス・マカレ<br>スター     | アイルランド | リパトリエーション（返還）と癒しの博物館  |
| 6   | モリエン・リース             | ノルウェー  | 急速に変化する世界で持続可能性を促進させる役割を担う文化拠点としての博物館                                       |

16:05-16:45 ディスカッション(質疑応答含む)

**16:45-17:00 休憩**

**17:00-18:40 セッション② 地域コミュニティとミュージアム**

17:00-18:00 発表 1～6 (各 10 分ずつ) \*招待発表含む

| 発表者 |                  | 国   | タイトル   |
|-----|------------------|-----|--|
| 1   | 長嶺 睦             | 日本  | 地域博物館と記憶遺産登録がもたらした地域社会への活力                                       |
| 2   | アルンダティ・ダスグ<br>プタ | インド | 語られざる歴史を伝える博物館:インドの分離独立博物館(Partition Museum) の事例研究               |
| 3   | 内船 俊樹            | 日本  | 商店街イベント参画を軸とした「つなげる博物館」の取り組み                                     |
| 4   | ギャラリー・マクラウド      | 日本  | SNS Challenger の「解体」: 参加型メディア時代におけるアーカイブ画像の共有使用を妨げる現代の障害に関する事例研究 |
| 5   | 潘 夢斐             | 日本  | 明治期の上野地域における「芸術界」とミュージアム 一 個、民、官のはざまにー                           |
| 6   | 佐々木 史郎           | 日本  | 国立アイヌ民族博物館の挑戦ー先住民族コミュニティとともに歩む博物館の創設へ                            |

18:00-18:40 ディスカッション(質疑応答含む)

**18:40-18:55 総括**

**18:55-19:00 閉会あいさつ**